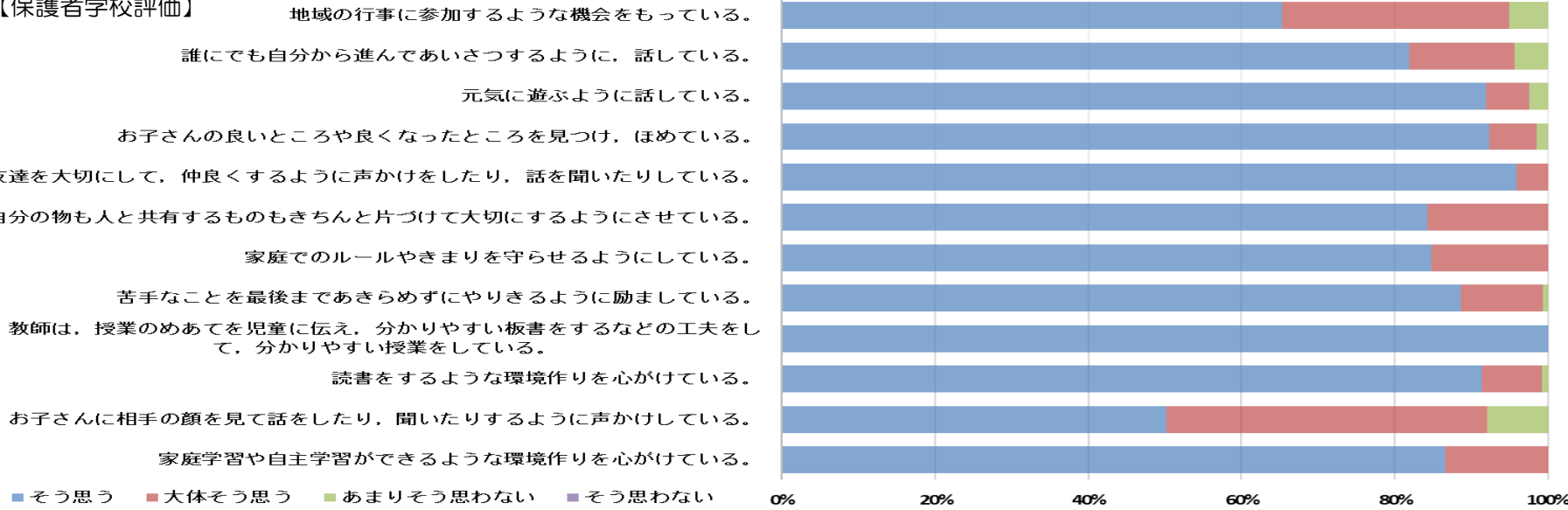


令和2年度 後期紫野小学校教育評価アンケートの集計結果のご報告

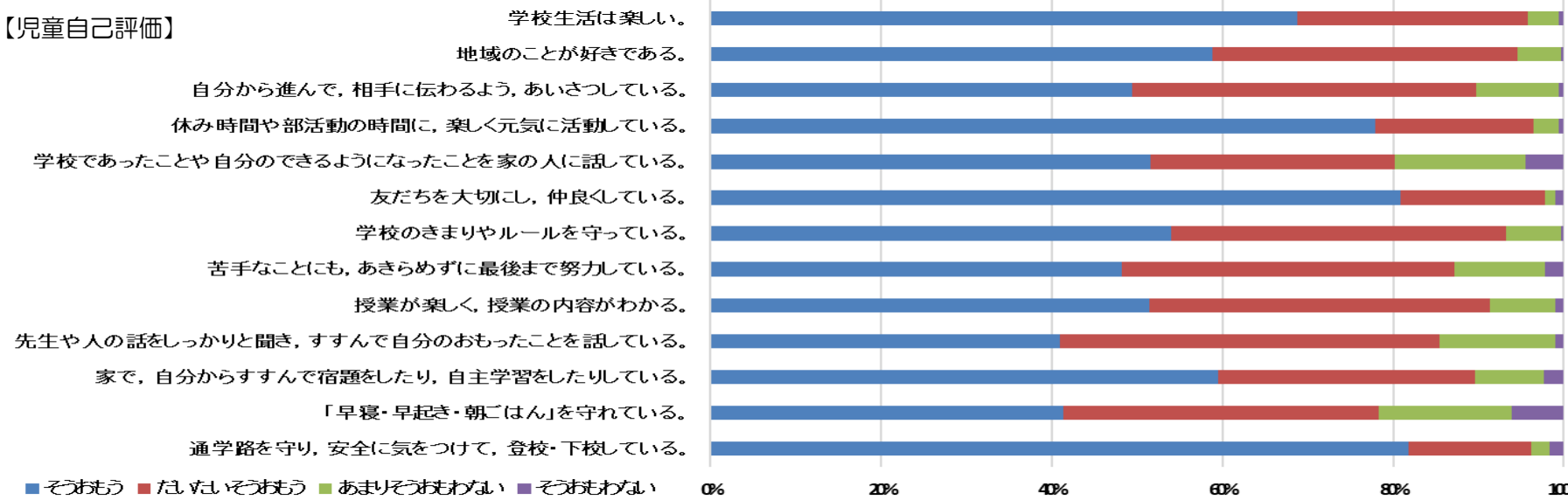
多くの保護者の皆様にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告させていただきます。

【保護者学校評価】



保護者 全体として、前期と比較するとどの項目についても大きく数値が上昇しています。特に、前期では、「ややあてはまると」という回答が多かったのですが、後期では、「よくあてはまる」に多くが変わっていました。学校再開後、段階的に教育活動を再開し進めてきましたが、7月の段階では、子どもたちの様子をどのように評価するのか難しいところがあったのではないのでしょうか。また、休校期間を経て、保護者の方も子どもたちも学校の面白さや楽しさ、大切さを改めて感じていただいたのではないのでしょうか。今、学校では、持続的に子どもの教育を受ける権利を保障していくためにGIGAスクール構想のもと、一人1台のタブレット端末を使った新たな学びに向けた取り組みも各学年で進めています。

【児童自己評価】



児童 「学校生活が楽しい」、「地域のことが好きである」の「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価が、前期に比べさらに上がっています。コロナ禍にあって教育活動が制限される中、本校にとって、注目すべき点だと捉えています。一方、子どもたちの心身の不調等にも引き続き注意深く見守っていきたいと考えています。子どもたちにとっては、運動場で遊べるようになったことが一番嬉しいことだったようで「休み時間や部活動の時間に、楽しく元気に活動している」の評価が大きく改善しました。運動場で感染対策をしながら体を動かしたり、遊んだりすることの喜びを感じています。そして、「先生や人の話をしっかりと聞き、すすんで自分の思ったことを話している」、「授業内容が楽しく授業の内容がわかる」「家で自分からすすんで宿題をしたり、自主学習をしたりしている」の項目も上昇しており、子どもたちは楽しく学校生活を送っているのではないかと見て取れます。授業の進め方や友達との関わり方、学校での学習、家庭での学習の進め方など今までとは異なる生活の変化に慣れたこともその要因の一つだと考えています。また、「あれもできない、これもできない」ではなく、「できること」を工夫して行い、その中から楽しみや喜びを見つけ、前向きに児童も教職員も取り組んできたことも大きな要因の一つだと考えています。子どもたちは楽しく学校生活を送っているのではないかと見て取れます。

教職員の評価についても、自信を持って自己を評価できるよう、より一層の努力と研鑽を重ね、学校教育目標に向かっていけるよう努力を続けていきたいと思います。

保護者、地域の皆様、今後とも紫野小学校教育にご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

【教職員】

